

第2回 新潟市亀田あけぼの会館 指定管理者申請者評価会議 会議概要

1 開催日時 平成29年10月19日(木) 午後2時～午後3時

2 会場 江南区役所 2階 201会議室

3 評価会議委員(五十音順、敬称略、全員出席)

氏名	職名等
小嶋 徹	税理士法人信越会計 代表社員
小林 淑人	新潟市江南区社会福祉協議会 事務局長
新保 正廣	亀田第60区自治会 会長
山本 譲治	亀田商工会議所 事務局長

4 傍聴者

3名

5 会議内容

- (1)会議進行【公開】
- (2)プレゼンテーション及びヒアリング【公開】
- (3)採点・評価【非公開】
- (4)結果報告・講評【非公開】

6 結果

指定管理者申請者(1団体)から提出された事業計画書等についてプレゼンテーション及びヒアリングを行い、各委員から採点・評価を行っていただいた。その結果、すべての項目において基準点を超える得点であった。

7 質疑応答など

Q. 現在の利用者はどのような方が多いのか。

A. 地元の方や近隣企業の方が多いのが現状です。

Q. コスプレの貸しスタジオとしての利用はどのようなものなのか。

A. 基本的には貸すだけであるが、今後は照明などの備品も揃えていきたい。

9月の下旬にコスプレの撮影に利用したいとの連絡がきた。今後は周知のためチラシなどの配布も考えている。

Q. チラシの印刷費やインターネットで周知するための経費はどうするのか

A. 例年最低賃金は上がっている。人件費の措置は最優先とし、残された予算の中で捻出したい。また修繕料は予算が余った場合は市に返納する約束になっている。修繕の状況を見ながら転用できるか区と相談していきたい。

Q. この3年間の取り組みの中で良かったことと十分でなかったことを挙げてください。

A. (良かったこと) 演歌歌手でカラオケ指導してくださっていた先生が、NHKの歌番組に出演した直後に行った新春カラオケ大会が大盛況で103名の参加があったことです。

(十分でなかったこと) 亀田縞の作家さんが時々この施設で作品展をされるので、住民の方にもっと施設を利用し知ってもらうためにも、作家さんと一緒に何か自主事業をしたかった。

Q. コスプレの利用は年間でどれだけ見込んでいるのか。

A. 1回の利用で4～5人。年間で200人前後の利用を目指している。

Q. コスプレで和室の利用をされているが、どのような所が好まれているのか。

A. 和室の入り口の足場や屋根の雰囲気、和装キャラクターのコスプレイヤーに好まれているようだ。これらの情報は現在あるあけぼの会館のホームページや、ツイッターを利用し情報を発信していきたい。

Q. 利用者に地元商店街や飲食店の紹介することで貢献したいとあるが。

A. 地元の商店街や関係団体と関わり協力しながら広げていきたいと考えている。